Press Release

報道関係各位

株式会社スタイルズ
第 PRS-STZ-20170413
平成 29 年 4 月 13 日

脆弱な Struts を Spring に変換する自動移行ツールを使ったサービスの提供開始！
～ソースコードベースの移植で工期削減、要件定義も不要～

株式会社スタイルズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：梶原 稔尚　以下、スタイルズ）は、2017 年 4 月 13 日（木）、**脆弱な Struts から Spring MVC へ変換を行う自動移行サービスを正式に提供開始いたしました。**スタイルズの 2016 年度実績では、Web アプリケーションを新規で開発した場合と比べると、本移行サービスをご利用いただいた発注者の開発にかかる工数を、**約９割削減することを実現しています**。

◆スタイルズ開発の Struts 自動移行サービス概要　～ Struts を Spring MVC へ ～

スタイルズ開発の Struts 自動移行ツールは Java コードを解析し、Struts 仕様のタグを Spring/JSTL（Java Server Pages Standard Tag Library）のタグに自動変換を行います。仕様に踏み込まず、ソースコードベースの自動変換を行うため、一般的なコード部分については要件定義をする必要がなくなります。
さらに、自動変換を行った後は、スタイルズのエンジニアが自動移行の対象外のソースコードを解析、手作業による移行・画面疎通テストを実施いたします。
これにより、**発注者の機械的な作業はなくなり、大幅な開発工数・納期・コストの削減に貢献**いたします。

サービスページ：https://www.stylez.co.jp/java-renew/

図１：Struts から Spring へ自動移行ツールで実施する内容

内容	概要	効果
JSP の変換	JSP の Struts タグを Spring /JSTL 標準タグに変換	90%以上のタグが自動移行可能
Action の変換	設定ファイルを元に、マッピング用のスケルトンを生成	機械的な作業コストを削減
Validation の変換	Validation XML から JSR303 アノテーション付きの Form を生成	標準的な Validation 処理は、ほぼ自動移行が可能

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>
株式会社スタイルズ　担当　棚田　　Tel：03-5244-4112　/　e-mail：web-contact@stylez.co.jp

Press Release

◆『深刻化する Struts 脆弱性にどう対処するか？』セミナー概要

開催日時：2017 年 4 月 24 日（月）　15 時 30 分～18 時 00 分（受付開始 15 時 00 分）

会　場　：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター TerraceRoom

最寄駅：JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」

住所：東京都千代田区神田駿河台 4-6

申　込　：https://www.stylez.co.jp/20170424_seminar/

入場料　：無料（事前登録制）

定　員　：70 名

主　催　：株式会社スタイルズ

内　容　：Struts による Web システムの脆弱性の仕組みや実例をわかりやすく解説し、取り組むべき具体的な課題解決の手段や対処方法、スタイルズが実際に行った Struts の移行事例をお伝えいたします。

セミナーに関するお問い合わせ：seminar@stylez.co.jp

◆株式会社スタイルズについて

スタイルズは平成 15 年の設立以来、企業が円滑な事業を行うのに必要な IT インフラの構築や、システム開発・保守、モバイルアプリやソフトウェアの開発などを手掛けてきた SI 会社です。

APN テクノロジーパートナーをはじめ各種クラウドのパートナーとして、オープンソース配布、運用支援、構築、開発サービスを提供しています。詳細は https://www.stylez.co.jp/ をご参照ください。

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>

株式会社スタイルズ　担当　棚田　　Tel：03-5244-4112　/　e-mail：web-contact@stylez.co.jp

Press Release

参考資料

◆Struts の脆弱性の歴史と急務の課題

10 年以上前、Web システム開発のデファクト・スタンダードは、Struts 1 でした。2013 年 4 月に EOL（サポート切れ）を迎えましたが、多くのシステムがそのまま利用され続けているのが現状です。サポート切れ後には、大きな話題となった「ClassLoader を操作可能な脆弱性」等、多くのセキュリティ上の弱点が指摘されてきました。

その後、開発される Web システムにおいては、後継としての Struts2、SpringMVC、JavaEE 等のフレームワークが利用されてきましたが、Struts2 は、2014 年以降、何度も脆弱性の問題が発見され、2017 年に入っては、「任意のコードを実行できる脆弱性（S2-045、CVE-2017-5638）」が見つかり、クレジットカード情報や個人情報の流出など、非常に深刻な被害が発生しています。

Struts 系フレームワークは、過去に多くの脆弱性の指摘を受けている歴史からいって、今後も問題が発生する可能性が大きいことも指摘されており、以下の理由から被害が甚大化する可能性もあります。

・過去に多くの RCE を提供してきた実績があり、完全に攻撃者が目を付ける侵入経路となっている
・(WordPress 等と比較して)大型で重要な Web システムで使われているケースが多い
・日本国内においてはやや慎重なベンダーがシステムを運用しているケースが多く、バージョンアップが素早く行われない

そのため、Struts 系フレームワークを採用している企業にとっては、可能な限り迅速に、根本的な対策を行なうことが急務と言えます。

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>
株式会社スタイルズ　担当　棚田　　Tel：03-5244-4112　/　e-mail：web-contact@stylez.co.jp